

こんにちは
一色しんいちです



《9 月議会報告》

発行：日本共産党加賀市委員会
(加賀市一白町 1-75、☎74-2312)



地震から市民のいのちを守るため

災害用備蓄を大幅に 増やすべきです！

今年 5 月、石川県が令和6年能登半島地震をうけ、被害想定を見直し。9月議会で、市はこれをふまえ「(地震発生1日目の)水、食料、携帯トイレ、液体ミルク、アルミシートを備蓄する」「2日目以降は、流通備蓄や支援物資で必要な物資を確保する」という予算を提案しました。

●これでは市民のいのちは守れません

右表をご覧ください。県の被害想定は、「加賀市全域で住宅が全壊・全焼、半壊」など、甚大なものです。いわば「能登半島地震で、輪島市で起きたような被害」です。

このような大規模災害で、道路等も寸断されて、どうして早期の支援が来るのでしょうか。私は、議会で以下のように質問しました。

《県の被害想定。加賀市は》

福井の活断層で地震の場合、加賀市では

- ◇住宅被害：2万2218棟が全壊・全焼
また7474棟が半壊(ほぼ全市が被害)
- ◇断水人口：6万6842人(ほぼ全域)
- ◇停電戸数：2万3910(ほぼ8割の家)
- ◇1週間後の避難者：3万9814人
- ◇孤立集落：10集落が孤立

◇一色：「(これでは)令和6年能登半島地震から何も学んでいないのでは、ありませんか。能美市では、令和6年6月議会で、簡易トイレや使い捨て哺乳瓶の備蓄を7日分に拡充しています。加賀市もせめて7日分、孤立が想定される集落では、さらに多い日数分の備蓄が必要」でないか。

◇総務部長：「備蓄品は、今年度は、発災初日に避難所で必要となる」分を確保し、「2日目、3日目の分につきましては、来年度予算で必要数を確保するよう計画を見直している」

「来年度確保？」。災害はいつ来るか分かりません。「3日分の備蓄」は最低限必要な分です。いますぐ確保すべきではありませんか。みなさんのご意見を、お寄せください。(上記QRからどうぞ)



市は、本当に市民のいのちを守る気があるの？ムダ使いを削って、きちんと対応してほしい。

「エンジン01」に 6千万円!?

ご存じですか。9月5、6、7日実施の「エンジン01in 加賀温泉」に、「まちづくり振興基金」からこんなにお金が使われました。

